

抜打ち避難訓練実施

9月5日、火災を想定した避難訓練を抜き打ちで行いました。日時や詳細は知らせずに実施しました。事前に把握していなくても、もしもの場合自分がどう行動しなくてはいけないのか、とっさに判断し、自分の命を守るための行動を自分が行うことができるか確認することが今回の訓練のねらいです。

2時間目終了後、非常ベルが校内に鳴り響きました。聞き慣れない突然の大きな音に生徒も職員も一瞬戸惑った様子でした。生徒達は自分達がいる一番近い出口から避難し、落ち着いて行動していました。

また、職員側の最大の目的は、役割分担の確認や、いかに迅速に判断し安全確保のための行動ができるかということでした。

校庭で全員の無事を確認した後、市川校長より、「もしもの場合、すぐに避難態勢に入り、自分の命を守るためにどのような行動をとれば良いかを選択し、行動に移さなくてはいけない」というお話があり、生徒も職員も真剣な面持ちで聞いていました。

抜き打ちの避難訓練は昨年度から実施しているものですが、いつ起こるか分からない災害に対しての自分の行動と心構えを再確認した良い機会となりました。

